

第17回

日本水大賞

17th JAPAN WATER PRIZE

2015

日本ストックホルム

青少年水大賞



日本水大賞

大賞 (賞状・副賞200万円)

大臣賞 (賞状・副賞50万円)

市民活動賞 (賞状・副賞30万円)

国際貢献賞 (賞状・副賞30万円) 他

日本ストックホルム

青少年水大賞

大賞 (賞状・副賞20万円)

ストックホルム青少年水大賞

国際コンテストへの参加

募集期間

2014. 07.07 (月)

10.31 (金)

詳しい内容、応募方法は、下記URLホームページをご覧ください。

お問い合わせ 日本水大賞委員会 公益社団法人 日本河川協会 〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E・C・Kビル3F
お申し込み先 URL: <http://www.japanriver.or.jp/taiso/> TEL. 03-3238-9771 (平日9:15~17:30) FAX. 03-3288-2426

•主催/日本水大賞委員会(名誉総裁:秋篠宮文仁親王殿下、委員長:毛利衛、副委員長:虫明功臣、委員:赤星たみこ、石井弓夫、大塚真一郎、大田弘、小川賢治、進士五十八、須藤隆一、千賀裕太郎、徳川恒孝、藤吉洋一郎、松田芳夫、澤口稜)、国土交通省
後援/環境省、厚生労働省、農林水産省、文部科学省、経済産業省、外務省、読売新聞社、他
協賛/(株)建設技術研究所、(株)東京建設コンサルタント、日本工営(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、ライオン(株)、「川の日」実行委員会
•本事業は、公益財団法人 河川財団 河川整備基金の助成を受けて実施しています
•ポスターデザイン/加藤咲(武蔵野美術大学卒)

日本水大賞

(1) 対象となる活動の内容(活動分野)

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動(研究、技術開発を含む)を対象とします。(※純粋な学術論文は除きます)

①水防災

水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する(ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る)・雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す・河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及

②水資源

水を大切にする・山や川などの水源地を大切に

③水環境

川や湖沼、海などの水をきれいにする・水辺の生き物やそのすみかを大切にす・水辺や水のある地域づくり・水にかかわる体験活動、環境学習

④水文化

水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める・水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりする(芸術、文学を含む)・地域における水文化を発掘したり普及する

⑤復興

上記の①～④に該当する諸活動のうち、地域の復興の視点から実施されるもの

*その他、上記①～⑤に関係する国際的な連携・技術協力・学会活動

(2) 対象となる活動主体

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。なお、個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません。

日本水大賞の内容

応募いただいた活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。なお、副賞は受賞活動を更に継続していただくよう授与しています。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞200万円)

水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から特に優れたものに対して授与します。

②大臣賞(賞状・副賞50万円)

【国土交通大臣賞】【環境大臣賞】【厚生労働大臣賞】【農林水産大臣賞】【文部科学大臣賞】【経済産業大臣賞】各省の行政目的に関係の深いものの中から、特に優れたものに対して授与します。

③市民活動賞【読売新聞社賞】(賞状・副賞30万円)

市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。

④国際貢献賞(賞状・副賞30万円)

活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め、大きな功績をあげたものに対して授与します。

⑤未来開拓賞(賞状・副賞10万円)

国内外を問わず水分野における新たな展開を対象とし、特に優れたものに対して授与します。

⑥審査部会特別賞(賞状・副賞10万円)

活動がユニークなものなど、審査部会において特に表彰に値すると判断されたものに授与します。

日本ストックホルム青少年水大賞

(1) 対象となる活動主体

国際コンテスト開催時(来年8月頃)に20歳以下の方で、高等学校または同等の学校(高等専門学校については1～3年生まで)に在籍している生徒または生徒の団体(クラブなど)が応募できます。ただし、大学生(高等専門学校については4年生以上)は国際コンテストには参加できません。

(2) 対象となる活動の内容

日本ストックホルム青少年水大賞は、地球温暖化により深刻化する洪水や渇水の対応はもとより、水質改善、水資源管理、水保全または水や排水の浄化による生活の質の向上を目指すなど、水問題を解決するための理論的および応用的調査研究活動を対象とします。なお、統計解析を含めて、実験、観測、結果報告において科学的に妥当な手法を用いることが条件です。

日本ストックホルム青少年水大賞の内容

応募いただいた作品の中から1次書類審査を通過した数チームは2次審査の発表、面接をへて以下の賞を授与します。

①大賞【グランプリ】(賞状・副賞20万円、国際コンテストへの参加費用)

②優秀賞(賞状・副賞10万円)

③審査部会特別賞(賞状・副賞10万円)

日本水大賞・日本ストックホルム青少年水大賞はそれぞれ専用の「応募用紙」にて応募してください。